



こころつなく。笑顔かがやく。



MOROZOFF View

第94期 報告書 2023年2月1日～2024年1月31日

中期経営計画

「つなぐ ~next stage 2031~」達成に向けて。

代表取締役社長 **山口信二**



株主の皆様には格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当連結会計年度における当社グループを取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことや行動制限が緩和されたことで、社会経済活動は一層の正常化に向かい、またインバウンド需要も増加したことにより、景気は緩やかに回復いたしました。しかし、原材料価格の高騰や、採用難による人手不足の深刻化、物価の上昇による消費マインドの悪化懸念など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループは企業スローガンである『こころつなぐ。笑顔かがやく。』のもと、スイーツを通して心豊かな生活をお届けすることを基本姿勢として、安心、安全かつ高品質な商品をお客様に提供することに注力しました。

その結果、第94期の業績につきましては、「当期の概況」に記載のとおりとなりました。

中期経営計画

「つなぐ ~next stage 2031~」を修正しました。

当社は、2023年2月より中期経営計画Step1(2024年1月期~2026年1月期)をスタートさせ、目標数値の達成に向けて、各種戦略の推進と企業体質の強化に努めてまいりました。

初年度である2024年1月期より、新型コロナウイルス感染症の収束にともない百貨店を中心に人流・商況が大きく回復したこと、「焼菓子」による成長戦略などが好調にスタートしたこと

により、閉店・退店の影響はありましたが、売上高は想定以上に大きく伸ばいたしました。

また、損益面では、想定どおり原材料価格の高騰や物流コストの増加などがありましたが、原材料価格高騰を吸収するための施策や、販売生産性の向上策などが奏功し、営業利益率は当初目標を上回る見通しとなりました。

このような状況を踏まえ、初年度における計画の進捗と今後の戦略の実現性を見据え、中期経営計画Step1の最終年度の目標数値を修正いたしました。

「Step1」目標数値(連結)

	2026年1月期	
	当初目標	修正目標
売上高	33,200百万円	35,500百万円
営業利益率	6.0%	6.5%

今後とも、時代に即したお客様接点を創造し、そしてお客様に提供する新たな価値を創造することで、未来につながる経営基盤を築くとともに、新たな成長戦略を講じて、景気変動や環境変化に左右されない、安定した収益の確保とサステナビリティの実現を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、何とぞ格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当期の概況

営業の概況

売上面につきましては、卵不足の影響はあったものの、バレンタイン商戦が堅調に推移したことに加え、人流の回復に伴い焼菓子やシーズンギフト、土産商品などが好調であったことにより、当連結会計年度の売上高は34,933百万円(前期比7.5%増)となりました。



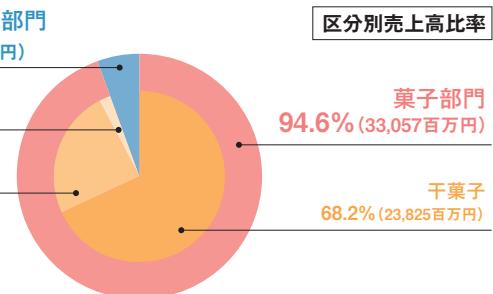
損益面につきましては、原材料価格の高騰などの影響により売上原価率は上昇したものの、増収効果に加えて、店舗や工場の人員体制の最適化などにより利益の創出に努め、営業利益は2,474百万円(前期比2.1%増)となりました。また、前期は営業外収益に受取補償金を計上したこともあり、経常利益は2,517百万円(前期比3.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,715百万円(前期比0.7%増)となりました。

喫茶・レストラン部門

5.4% (1,876百万円)

洋生菓子 24.2% (8,461百万円)

売上高総計 34,933百万円



洋菓子製造販売事業の概況

干菓子につきましては、経済活動の正常化により需要が活性化したことで、バレンタイン商品をはじめとするチョコレートに加え、「アルカディア」などの焼菓子や、シーズンギフトや土産商品などにつきましても堅調に推移しました。また、バターにこだわった焼菓子ブランド「ガレット オ ブール」を2023年4月に大丸東京店へ、9月に高島屋京都店へオープンしたことの寄与もあり、売上高は順調に推移しました。

洋生菓子につきましても、卵の供給制限により一部商品の販売休止などの影響はあったものの、カスタードプリンについては商品供給量の確保に努めるとともに、卵の使用量が少ないシーズンプリンやチーズケーキ等を積極的に販売いたしました。

その結果、当事業の売上高は33,057百万円(前期比7.1%増)となりました。

喫茶・レストラン事業の概況

喫茶・レストラン事業につきましては、人流の回復に伴う売上高の増加に加え、メニューの改変などにより売上拡大を図った結果、売上高は1,876百万円(前期比15.1%増)となりました。



つなぐ ~next stage 2031~

2023年1月30日に公表しました中期経営計画「つなぐ ~next stage 2031~」につきまして、直近の業績動向を踏まえ、Step1（2026年1月期）の目標指標を修正するとともに、一部戦略内容の更新と新たな目標方針の設定を行いました。目標指標の具体的内容につきましては、「株主の皆様へ」に記載のとおりです。なお、中期経営計画における基本的な戦略に変更はありません。

株主還元強化

当社は、利益配分について、経営成績の見通し、配当性向、内部留保の水準などを総合的に判断しながら、安定的な配当を維持継続していくことを基本方針としておりましたが、株主様への利益還元の姿勢をより明確にするため配当方針を変更しました。

新たな配当方針

利益配分につきましては、持続的な成長と企業価値向上のための投資や、様々なリスクに備えるための財務健全性とのバランス、経営成績の見通しなどを考慮したうえで、業績に応じた利益配分を行うことを基本方針とし、連結配当性向40%程度、連結総還元性向50%程度を目安に配当することといたします。

フリーキャッシュ・フロー配分方針(2024年1月期~2032年1月期累計)

創立100周年(2032年1月期)までの中期経営計画9年間(Step1~Step3)におけるトータルでのフリーキャッシュ・フローの配分方針を新たに策定しました。



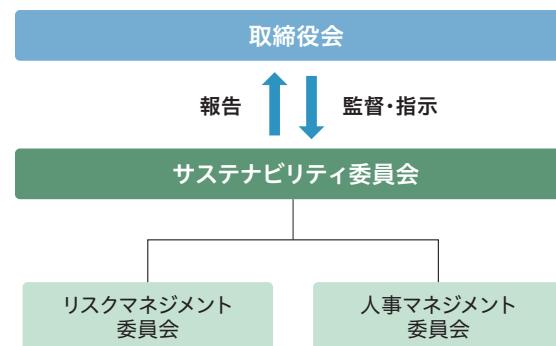
中期経営計画「つなぐ ~next stage 2031~」の詳細は当社ホームページに掲載しております。▶ https://www.morozoff.co.jp/company_ir/ir_plan.html

サステナビリティへの取り組み

当社グループは企業スローガンに「こころつなぐ。笑顔かがやく。」を掲げ、スーツを通してすべてのお客様に笑顔をお届けことをめざしております。お客様をはじめとするすべてのステークホルダーの満足度の向上に取り組むことで、持続的な企業価値とブランド価値の向上を図るとともに、「企業」と「社会」の持続可能性の両立を目指して、サステナビリティへの取り組みを推進いたします。

1 ガバナンスおよびリスク管理体制の再構築 (サステナビリティ委員会の設置)

当社グループは、サステナビリティへの取り組み推進を図ることを目的に、「サステナビリティ委員会」を設置しています。サステナビリティ委員会では下部組織に「リスクマネジメント委員会」と「人事マネジメント委員会」を設置し、気候変動を含むリスク、戦略および目標について審議及び承認のうえ、必要に応じて取締役会へ報告いたします。



2 気候変動への取り組み強化

当社では、気候関連リスクと機会を評価、管理するためCO₂排出量を指標としています。2014年度を基準としてCO₂排出量を2030年に46%削減することを目標としています。目標達成に向けて太陽光パネルの設置など再生可能エネルギーの導入を促進する他、LEDへの切り替えといった省エネ活動を推進しています。

CO₂排出量の詳細につきましては、当社ホームページにて開示しています。
※毎年8月に更新いたします。
▶ https://www.morozoff.co.jp/company_ir/csr/environment/

3 人的資本(人材の多様性確保を含む)に関する戦略及び目標

指標	目標(2026年3月末)	実績(2024年1月末)
管理職に占める女性労働者の割合 ^(※1)	15.0%	12.2%
育児短時間勤務利用者率 ^(※2)	50%以上	43.5%
子育て女性の勤務率 ^(※3)	30.0%	26.9%

(※1)「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」の規定に基づき算出
(※2)育児短時間勤務利用者÷小学校就学以前の子女を持つ女性社員数
(※3)子育て女性人数÷既婚女性正社員数

表彰

ひょうご・こうべ女性活躍推進企業(ミモザ企業)に認定されました

当社は、2022年11月に「兵庫県内企業的女性活躍を促進するための制度」として創設された、ひょうご・こうべ女性活躍推進企業(ミモザ認定)※の第1回目の認定企業として選出され、①企業の取り組み姿勢、②キャリア形成支援、③女性の登用促進、④女性の定着促進などの審査項目を達成し認定を受けました。今後も従業員の方々が生き生きと働き、活躍することができる職場づくりを推進してまいります。
※ミモザ企業：ミモザは国連が定めた「国際女性デー(3/8)」のシンボルであることから、女性が活躍する職場作りに積極的に取り組む企業を本制度の愛称としてネーミングされている。



新店舗情報

バターを楽しむ焼き菓子専門店「ガレット オ ブール」が、2023年に東京・京都にて新規出店いたしました。それぞれ2021年から常設化を目指して催事を実施し、オープン初日からお客様の列が絶えることなく現在もご好評いただいております。

全国
4店舗目



2023年4月6日 ガレット オ ブール 大丸東京店

全国
5店舗目



2023年9月13日 ガレット オ ブール 京都高島屋S.C.店

「ガレット オ ブール」

フランス語で「バターの焼き菓子」という意味のバターを楽しむ焼き菓子専門店「ガレット オ ブール」。2020年8月に東京・銀座に1号店がオープンし、その後大阪、博多に加え、2023年に新たに東京(2店舗目)・京都に常設店がオープンしました。2023年も新商品や期間限定商品などを取り揃え、各地で販売にご好評いただきました。



主役のバターには、フランスイズニー社の発酵バターを使用。
“さわやかでありながら、奥行きのある味わい”を引き出します。

2023年 新商品



ガレット プルトンヌ (ピスタチーシュ)

まろやかな甘みの
ピスタチオを組み合わせ



ガレット プルトンヌ (ノワ)

香ばしいクルミが
食感のアクセントに



ガレット プルトンヌ (キャラメル)

ほろ苦いキャラメルに
ほのかな塩味がアクセント

催事

北海道発ブランド「ガレット・ネージュ」

北海道の素材を使い、丁寧に作り上げたガレット専門店。「ネージュ」はフランス語で「雪」。ブランドのシンボルは“ゆき”うさぎを表しています。北海道にのみ生息する「エゾユキウサギ」は逃げ足が速く、なかなかお目にかかれませんが、会えるとうれしいゆきうさぎのように「出会うと感動する、そんなお菓子を作りたい」という想いがこめられています。



2023年に2回にわたり大丸札幌店にて催事を実施。初日から全商品完売し、2回目の催事では1回目にもご購入いただいたリピーターの方にも多く来ていただきました。



大丸札幌店 期間限定催事(3月・10月)



ガレットサンド

ラム酒漬の香り高いレーズンがぎっしり入ったしっとり食感のケーキや、やさしい甘さのくるみがたっぷり入ったケーキをミルクレーンホワイトグラサージュでコート。口だけの良いガレットでサンドしました。



ガレット オ フロマージュ

北海道のバターと小麦に、ミルクレーンマスカルポーネチーズやココのあるチェダーチーズを加えて焼き上げました。さっくり、ほろほろ、新食感。チーズの旨味あふれるガレットです。

サブレオショコラ “とろけるソースでリッチなおいしさ。冬限定のチョコレートサブレ”

サクサク食感の厚焼きサブレに、くちどけの良いなめらかなチョコレートを合わせました。サクサク食感のサブレ、くちどけの良いチョコレート、とろけるソースがあわさり、3つの食感と味わいの一体感をお楽しみいただけます。

2023年の秋に高島屋横浜店にて全国初の催事を実施。その後、高島屋日本橋店、阪神百貨店梅田本店でも期間限定で販売いたしました。ラインナップは3個入～18個入までを取り揃え、お試してご購入いただく方や手土産用としてもご好評いただきました。



阪神百貨店梅田本店 期間限定催事(12月)



キャラメル&ミルクチョコレート

ミルクチョコレートのまろやかな甘さの中にキャラメルソースの濃厚な味わいが広がるサクサク食感のサブレ。



キャラメル&ホワイトチョコレート

ホワイトチョコレートのミルク感の中にほんのり塩味を感じるすっきりとした甘さのサブレ。



ラズベリー&ホワイトチョコレート

ホワイトチョコレートの中に甘酸っぱいラズベリーソースを閉じ込めたさわやかな甘さのサブレ。

2024 VALENTINE'S DAY

1932年、日本ではじめてバレンタインにチョコレートを贈るスタイルを紹介したモロゾフ。
2024年のバレンタインに登場した新しい2つのブランドをご紹介します。



まるっと かわいい ぷるうつ。
MARUTTO KAWAII FRUITS

まるっとかわいいぷるうつ。

フルーツのかわいさをまるっと表現した「フルーツモチーフ」のチョコレートブランドです。形がかわいい、味も見た目も人気のフルーツ5種類をピックアップ。思わず手に取りたくなる、まるで果物な缶に、フレッシュな果実感や果肉を楽しめるフルーツチョコレート詰め合わせました。



まるっとフルーツ缶(りんご)

まるっとフルーツ缶(洋梨)



フルーツバスケットNE



PARFAIT AU CHOCOLAT DE

パフェをショコラで。

パフェの持つ華やかさ、多彩な味わいをチョコレートで表現したブランドです。フルーツ、クリーム、アイスなど、パフェを構成するさまざまな素材をイメージした、見た目も可愛いチョコレートの詰合せ。パフェグラスを置くプレートをかたどったボックスなど心ときめくパッケージでお届けします。



いちごに恋して
(いちごのパフェ)

パフェをショコラで。
(ジェラート)



パフェをショコラで。

ファンシーデザート誕生50周年

1973年、当時の先端を行くレトルト*技術を生かして、果汁たっぷりのみずみずしい食感でありながらも常温で日持ちがする、夏らしくさわやかな商品「ファンシーデザート」が誕生。皆様にご愛顧いただき、2023年で50周年を迎えました。

発売当時は、水面に涼風が吹き、さざ波が立っている様子をシルバー・ライトブルーで表現したさわやかなパッケージ。中身は暑い夏にも食べたくなる、フルーツのさわやかな味わいの「オレンジマインド」、そしてチョコレートを夏にも楽しんでいただけるようムースで仕立てた「チョコレートムース」の2種で展開しました。2011年には樹脂容器になり、より洗練されたデザインに変更。ふるふるとゼリーがほどけ、香り高い味わいが華やかに広がるモロゾフの夏限定のロングセラー商品です。

*レトルト：気密性及び遮光性を有する容器で密封し、加圧加熱殺菌した食品



1972年

ソフトプリン発売



モロゾフ初のレトルト商品
「ファンシーデザート」の原点となりました

1973年

ファンシーデザート発売



発売当時のファンシーデザート

発売当時の広告

50周年記念商品

ファンシーデザート リミテッド
(シャインマスカット)



子会社情報

VISUAL HONG KONG LIMITEDを連結対象の子会社としました

2016年10月、当社は香港を中心とする中華圏での事業展開の拡大と海外ビジネスのノウハウの吸収を目的として、香港において日本の高級菓子の販売を行っている「VISUAL HONG KONG LIMITED」を子会社としました。同社の重要性が増したため、当連結会計年度より連結対象の子会社としました。



香港そごう店



香港そごう「和菓子の里」

財務ハイライト

■ 連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	期別	前期 (2023年1月31日現在)	当期 (2024年1月31日現在)
		金額	金額
(資産の部)			
流動資産		15,919,931	17,452,510
固定資産		10,676,019	10,467,235
有形固定資産		7,795,636	7,598,065
無形固定資産		139,687	191,505
投資その他の資産		2,740,696	2,677,664
資産合計		26,595,951	27,919,745
(負債の部)			
流動負債		7,350,739	7,533,747
固定負債		664,995	666,132
負債合計		8,015,734	8,199,880
(純資産の部)			
株主資本		18,232,161	19,240,846
資本金		3,737,467	3,737,467
資本剰余金		3,918,352	3,922,552
利益剰余金		10,688,523	12,146,385
自己株式		△ 112,182	△ 565,558
その他の包括利益累計額		348,054	479,017
その他有価証券評価差額金		474,108	486,662
土地再評価差額金		290,138	290,138
為替換算調整勘定		—	86,331
退職給付に係る調整累計額		△ 416,193	△ 384,115
純資産合計		18,580,216	19,719,864
負債・純資産合計		26,595,951	27,919,745

■ 連結損益計算書

(単位:千円)

科目	期別	前期 (2022年2月1日から 2023年1月31日まで)	当期 (2023年2月1日から 2024年1月31日まで)
		金額	金額
売上高		32,505,834	34,933,847
売上総利益		16,953,202	17,978,983
営業利益		2,423,757	2,474,392
経常利益		2,615,757	2,517,764
税金等調整前当期純利益		2,594,354	2,623,779
親会社株主に帰属する当期純利益		1,703,234	1,715,689

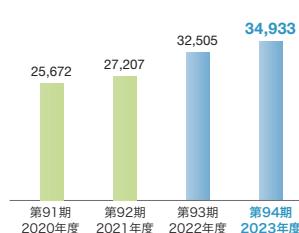
■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	期別	前期 (2022年2月1日から 2023年1月31日まで)	当期 (2023年2月1日から 2024年1月31日まで)
		金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,200,739	2,117,394
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,540,695	△ 456,741
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 440,683	△ 1,011,282
現金及び現金同等物に係る換算差額		—	36,587
現金及び現金同等物の増減額		219,360	685,958
現金及び現金同等物の期首残高		5,383,737	5,647,290
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高		44,192	307,512
現金及び現金同等物の期末残高		5,647,290	6,640,761

■ 売上高

(百万円)



349億33百万円
(前期比 7.5%増)

■ 営業利益

(百万円)



24億74百万円
(前期比 2.1%増)

■ 経常利益

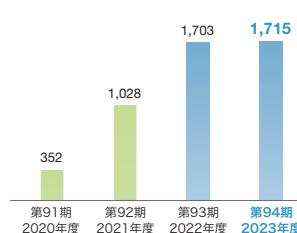
(百万円)



25億17百万円
(前期比 3.7%減)

■ 当期純利益

(百万円)



17億15百万円
(前期比 0.7%増)

(注) 1. 第92期までは単体の数値、第93期からは連結の数値です。
2. 第93期の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。

第95期の予想

第95期(2024年2月1日~2025年1月31日)の業績予想につきましては、卵不足の影響が出た前連結会計年度の反動や、香港の子会社での春節の売上増加などが見込まれますが、物価上昇の影響により個人消費にも翳りが出てくることが想定されることから、通期の売上高は若干の増加程度に留まるものと想定しております。一方で損益面では、カカオなどの原材料価格が引き続き上昇することに加えて、物流コストの増加や人件費の上昇など、大幅なコストアップ要因が見込まれます。これに対しまして、さらなる生産性の向上に加えて、価格改定や、商品設計の見直しなどの原価低減対策を講じてはいますが、コストアップ要因のすべてをカバーすることは困難であり、売上原価率の上昇や経費、人件費の増加を想定しております。

(単位:百万円)
(%は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第95期(予想)	35,370	2,120	2,170	1,350
	1.2%	△ 14.3%	△ 13.8%	△ 21.3%

(単位:円)

	中間	期末	合計
第94期	-	98	98
第95期(予想)	35	43	78

株主様に対する特典 基準日: 7月31日(年1回)

当社は、毎年7月31日現在の株主名簿に記載または記録された株主様を対象に株主優待を実施しております。

優待品 ①株主優待券または自社商品 ※下表の株主優待券および商品の写真は見本です。実際の優待品と異なる場合があります。

保有年数	保有株数	
	100~999株	1000株以上
3年未満	<p>優待券5冊(20枚綴) 2,000円相当の自社商品</p>	<p>優待券10冊(20枚綴) 3,000円相当の自社商品</p>
3年以上	<p>優待券5冊(20枚綴) 2,000円相当の自社商品A 2,000円相当の自社商品B</p>	<p>優待券10冊(20枚綴) 3,000円相当の自社商品A 3,000円相当の自社商品B</p>

●優待券または商品は、11月下旬頃に発送いたします。 ●株主優待券の有効期限は、翌々年5月31日です。
●株主優待券は当社の指定店および通信販売で優待券1枚につき割引前本体価格1,000円までの現金でお買い上げ、ご飲食に対して20%を割引いたします。

優待品 ②オンラインショップ優待割引

100株以上保有の株主様はモロゾフオンラインショップ(<https://shop.morozoff.co.jp/>)で年4回、20%割引でご購入いただけます。

●1回当たりのご利用上限額は割引前本体価格10,000円です。 ●ご利用可能期間は、11月1日から翌年10月31日までです。

●3年以上保有の株主様は株主名簿(7月31日現在と1月31日現在の年2回発行)に、同一の株主番号で、7回以上連続で記載または記録された株主様といたします。

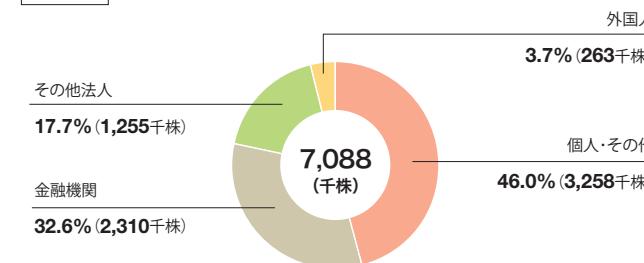
株式情報

■ 株式の状況 (2024年1月31日現在)

発行可能株式総数	24,000,000 株	株主数	13,050 名
発行済株式の総数	7,088,452 株	うち単元株主数	10,143 名

■ 株式分布状況 (2024年1月31日現在)

所有者別



株主メモ

事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	4月中
基準日	定時株主総会・期末配当 1月31日 中間配当 7月31日
公告方法	電子公告 https://www.morozoff.co.jp/koukoku/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告 ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問い合わせ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 ☎(通話料無料)0120-094-777

【ご注意】

- ◎株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。株主名簿管理人ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- ◎特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- お手続き用紙のご請求は、インターネットでも承っております。
インターネットホームページ <https://www.tr.mufig.jp/daikou/>
- ◎未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

表紙の商品について

サマーロイヤルタイム

涼感あふれる夏だけのおいしさを
多彩に詰め合わせた
ギフトセット。



モロゾフ株式会社

www.morozoff.co.jp



〒658-0033 神戸市東灘区向洋町西五丁目3番地
☎078-822-5000(代表)
(登記上の本社 神戸市東灘区御影本町六丁目11番19号)

会社概要

(2024年1月31日現在)

商号	モロゾフ株式会社 Morozoff Limited
設立	1931年8月8日
従業員数	528名(連結:553名) (注)上記従業員の他、嘱託社員50名および臨時従業員がおります。
上場取引所	東証プライム市場(証券コード:2217)
事業所	〈営業所〉 本社(神戸) 御影オフィス併設・六甲アイランド オフィス(神戸)・関西支店(神戸)・東京支店・ 福岡支店・北海道営業所(札幌)・仙台オフィス・ 名古屋オフィス 〈工場〉 西神工場(神戸)・六甲アイランド工場(神戸)・ 船橋工場・福岡工場・札幌工場

役員

(2024年4月25日現在)

代表取締役社長(マーケティング本部長)	山口 信二
代表取締役副社長(管理部門統括)	山岡 祥記
常務取締役(営業本部長)	鈴木 正人
取締役(生産本部長)	高田 耕治
取締役(経営統括本部長)	磯野 健治
取締役	笠原 かほる
取締役	森澤 武雄
取締役(常勤監査等委員)	木村 雅一
取締役(監査等委員)	渡邊 純子
取締役(監査等委員)	松尾 茂樹

(注)笠原かほる、森澤武雄、渡邊純子、松尾茂樹の各氏は、社外取締役であります。